

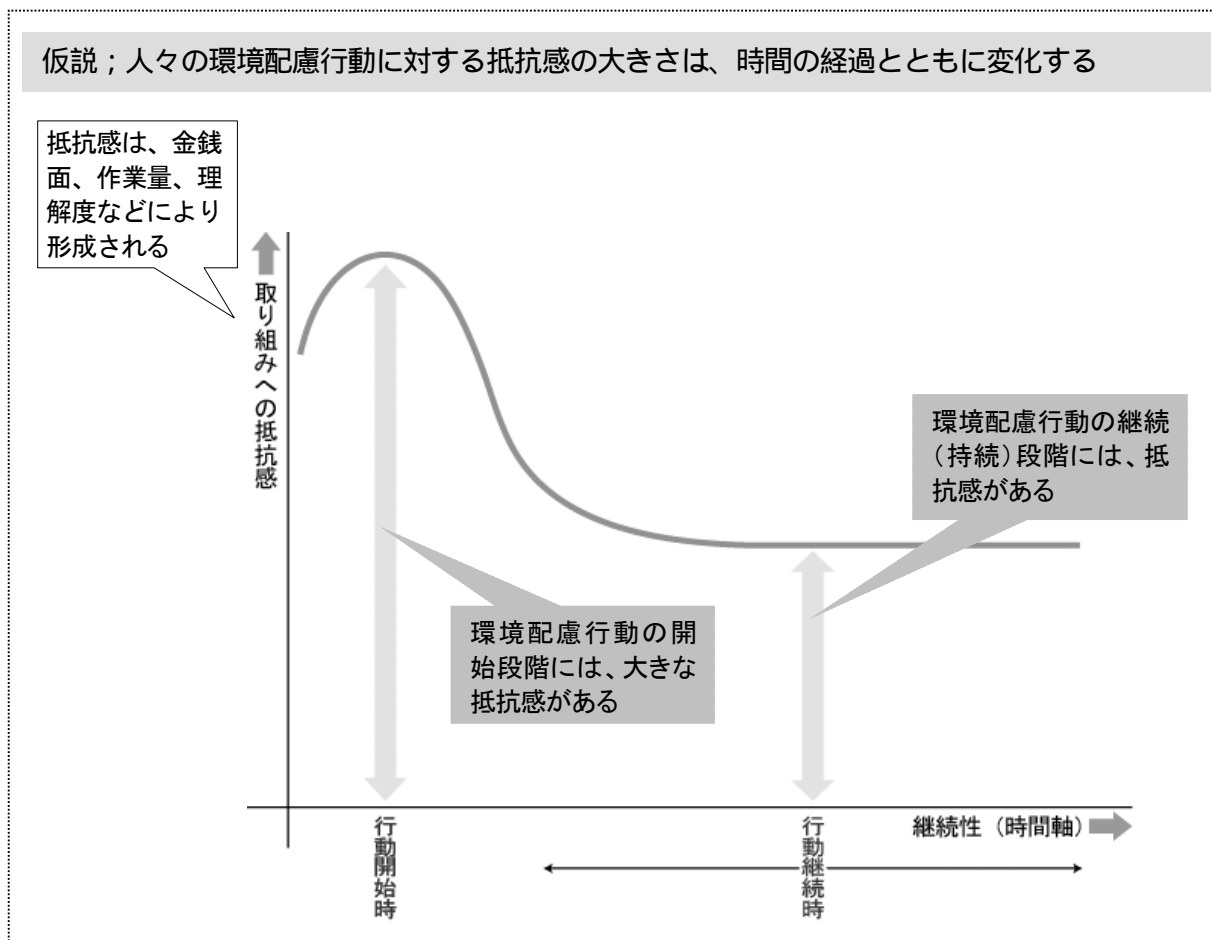
## 4-2 協力要請の視点別方法

### 4-2-1 視点1 ; 取り組みに対する抵抗感を探り、ネックを解消する

#### 考え方

人々が環境配慮行動を行っていく際、例えば、“こまめに電気を消す”は、日常的な取り組みが必要であるため継続時に抵抗を感じ、“省エネ家電に買い換える”は、初期投資が必要であるため行動開始時の抵抗を感じるなど、取り組みの開始時・継続時において各々の環境配慮行動に応じた抵抗感が生じている。故に、様々な環境配慮行動の促進にあたり統一的・画一的に協力要請していくことは非効率である。

このため、個々の環境配慮行動に対する取り組みの開始時・継続時に生じている抵抗の大きさを探り、その結果を踏まえ、個々の環境配慮行動に対する抵抗感を緩和させる観点を踏まえた協力要請を行うことが考えられる。

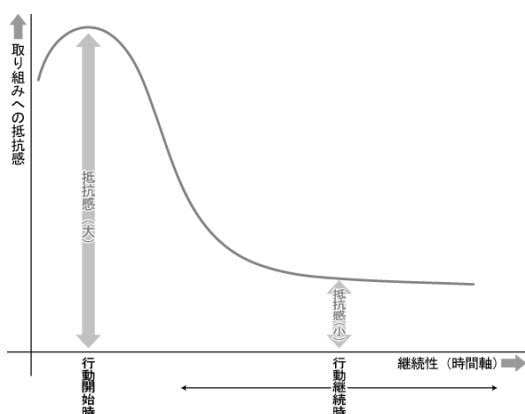


上記の仮説を検証(各時点の抵抗の大きさを探る)する

環境配慮行動の開始時、継続時における「抵抗の大きさ」を踏まえ、効果的な協力要請(広報等)を行う。

## 【人々の環境配慮行動に対する抵抗感の例（仮説）】

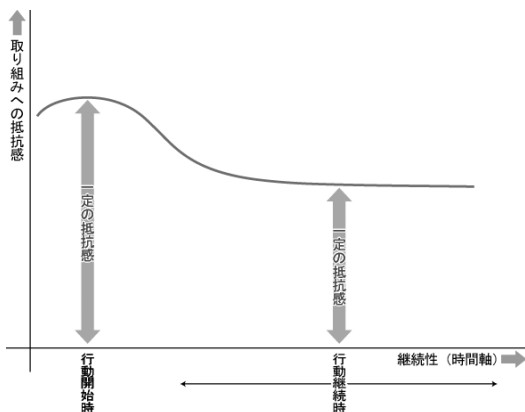
### 【パターン1】 行動開始時に抵抗感が大きい取り組み



#### 低公害車の購入、省エネ家電の購入等

取り組み当初に費用が発生するため、未行動時、行動開始に大きな抵抗を感じるが、その後は、購入した製品を利用するだけで省エネ行動につながり、特に取り組みに対する抵抗は感じない（もしくは、軽減される）ものと考えられる。

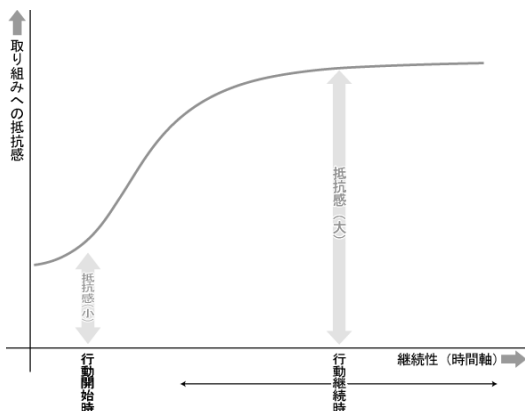
### 【パターン2】 行動開始時・行動継続時に抵抗感が大きい取り組み



#### 環境NPOに参加する、リサイクル製品を購入する等

未行動時は、新たな行動への挑戦、価値観の変革が求められるため、大きな抵抗感を抱くものと考えられる。継続時においても時間的制約、金銭的負担が必要であり、抵抗は軽減しないものと考えられる。

### 【パターン3】 行動継続時に抵抗感が大きい取り組み



#### こまめに電気を消す、公共交通を利用する等

未行動時は、難しいことではないため、あまり抵抗を感じないが、行動開始とともに常に気をつける必要があるため、継続に対し、抵抗を感じるようになり、その抵抗は軽減しないものと考えられる。

## 協力要請の例（北九州市での調査結果による）

北九州市における人々の環境配慮行動に対する抵抗感を把握するためのアンケート調査結果より、各々の取り組みの抵抗感は、行動開始時・行動継続時に異なることが明らかとなった。

今後の環境配慮行動の促進には、各環境配慮行動において、どの時点（行動開始時・行動継続時）に、どの程度の抵抗を抱えているのかを的確に捉え、大きな抵抗を感じている時点に着目して、その抵抗を軽減するための情報提供を行っていくことが必要である。

以下に、数多くある取り組みの中から、“行動開始時に大きな抵抗がある取り組み”、“行動継続時の抵抗感が行動開始時に比べ低下しない取り組み”を対象に、取り組みに対する抵抗の大きさを考慮しつつ、効果的な協力要請を行うために提供すべき情報内容を例示している。

**a** 『断熱等の工事をする』、『超低公害車を購入する』等、開始時に大きな抵抗を示す行動は、経済的負担の軽減に資する情報の提供を行う。

例；『断熱等の工事をする』 初期投資に対する融資制度や補助制度に関する情報を提供する。

【融資制度・補助制度の一例】

機関名	制度名	制度概要
住宅金融公庫	割増融資制度	通常の融資に加えて、一定の基準を満たす良質な住宅に割増融資が受けられる。一般型の省エネルギー住宅工事では開口部の断熱ありの場合 100 万円、次世代型の省エネルギー住宅工事では 250 万円で、それぞれパッシブソーラーシステムを併設した場合にはさらに 150 万円を加算できる。
	優良住宅支援制度【フラット 35】	住宅金融公庫の【フラット 35】申し込み者が、省エネルギー対策等級 4（性能レベルは「住宅の品質確保の促進等に関する法律」に基づく住宅性能表示制度の性能等級と同じ）の住宅であることの「適合証明書」を申し込み先の金融機関に提出すると、当初 5 年間の融資金利が 0.3% 優遇される。
NEDO（新エネルギー・産業技術総合開発機構）	既築住宅に対する断熱改修支援制度	<補助率> 1/3 <補助対象>断熱改修は、躯体の断熱性能（断熱部材等）を次世代省エネ基準仕様に強化する費用を対象。省エネ換気設備は通常の機械換気設備との差額費用、省エネ換気設備、照明、躯体の断熱性能（断熱部材等）を含む場合についてもシステム構成の一部として対象等の要件がある。

参考；住宅金融公庫・NEDO等ホームページ

例；『超低公害車を購入する』 税制優遇措置に関する情報など、経済的負担を軽減する情報を提供する。

【税制優遇措置の一例】

税制優遇措置	優遇措置の内容	機関名
自動車取得税（地方税）の軽減措置	取得価格から 30 万円を控除 対象は、電気、天然ガス、メタノール、ハイブリッド自動車の取得	国税庁
自動車税（地方税）の軽減措置	対象は、電気、天然ガス、メタノール自動車及び低燃費かつ低排出ガス認定車の取得 電気、天然ガス、メタノール自動車：概ね 50% 軽減 低燃費かつ低排出ガス認定車：概ね 50% 軽減	国税庁
所得税、法人税（国税）の優遇措置	対象は、電気、天然ガス、メタノール及びハイブリッド自動車の取得に対して、初年度帳簿価格の 30% の減価償却の特例、又は 7% の所得税（法人税）の特別控除をする。（資本金 1 億円未満の法人等に限る。）	国税庁

参考；独立行政法人環境再生保全機構ホームページ

**b** 行動継続時の抵抗感が行動開始時からあまり低下しない『冷房温度を 28℃設定にする』『徒歩・自転車で移動する』、『こまめに電気を消す』等の取り組みは、簡単にでき、続けることが苦にならないような取り組み方法に関する情報の提供を行う。

例；『冷房温度を 28 に設定する』 リアルタイムで取り組み効果（節電効果）を室内（見えるところ）に表示し、やる気を継続させる。

**【省エネナビ】**

- ・電気使用量、電気代、二酸化炭素排出量、熱量をリアルタイムで画面に表示
- ・目標とする電気使用量を任意に設定でき、使用実績値が目標を超えれば使いすぎを画面に表示
- ・計測したデータを過去1年分保存でき、専用ソフトでパソコンで分析可能

■データは約1分毎に更新表示されます。

電力量(kWh)の実績値・省エネ値	7428
電気料金(円)の実績値・省エネ値	7246
二酸化炭素排出量(kg)の実績値・省エネ値	170
熱量(MJ)の実績値・省エネ値	166
電力量(kWh)の実績値・省エネ値	4122
電気料金(円)の実績値・省エネ値	4021
二酸化炭素排出量(kg)の実績値・省エネ値	26740
熱量(MJ)の実績値・省エネ値	26085

■電力センサーとの通信状況をアンテナ表示します。

■数値画面については今日、前日、前々日、今週、先週、各月、年累積値を切替えて見ることができます。

■電力量(kWh)、CO2排出量(kg)、電気料金(円)、熱量(MJ)の実績値と省エネ値(=目標値/実績値)が表示できます。

■省エネ達成度をアイコンの色と形でお知らせします。

■カレンダー表示部は当日を白、過去の対象日の省エネ達成度を3段階の色分けで表示します。

参考；関西電力グループホームページ

例；『徒歩・自転車で移動する』 バス・電車の中へ手軽に持ち込み、移動先でも便利であることをアピールする。

**【折りたたみ自転車】**

- ・工具不要の簡単折りたたみ
- ・超軽量の 8.4kg
- ・コンパクトに折り畳み
- ・可変式システムで大人から子供まで適応
- ・一体型リアキャリアにローラーが装備され、折りたたみ時の移動も楽々！

参考；LOUISGARNEAU ホームページ

例；『こまめに電気を消す』の簡単に達成できる方法 使用していない時は自動で消灯する電灯など、継続時に気になくても済む商品に関する情報提供を行う。

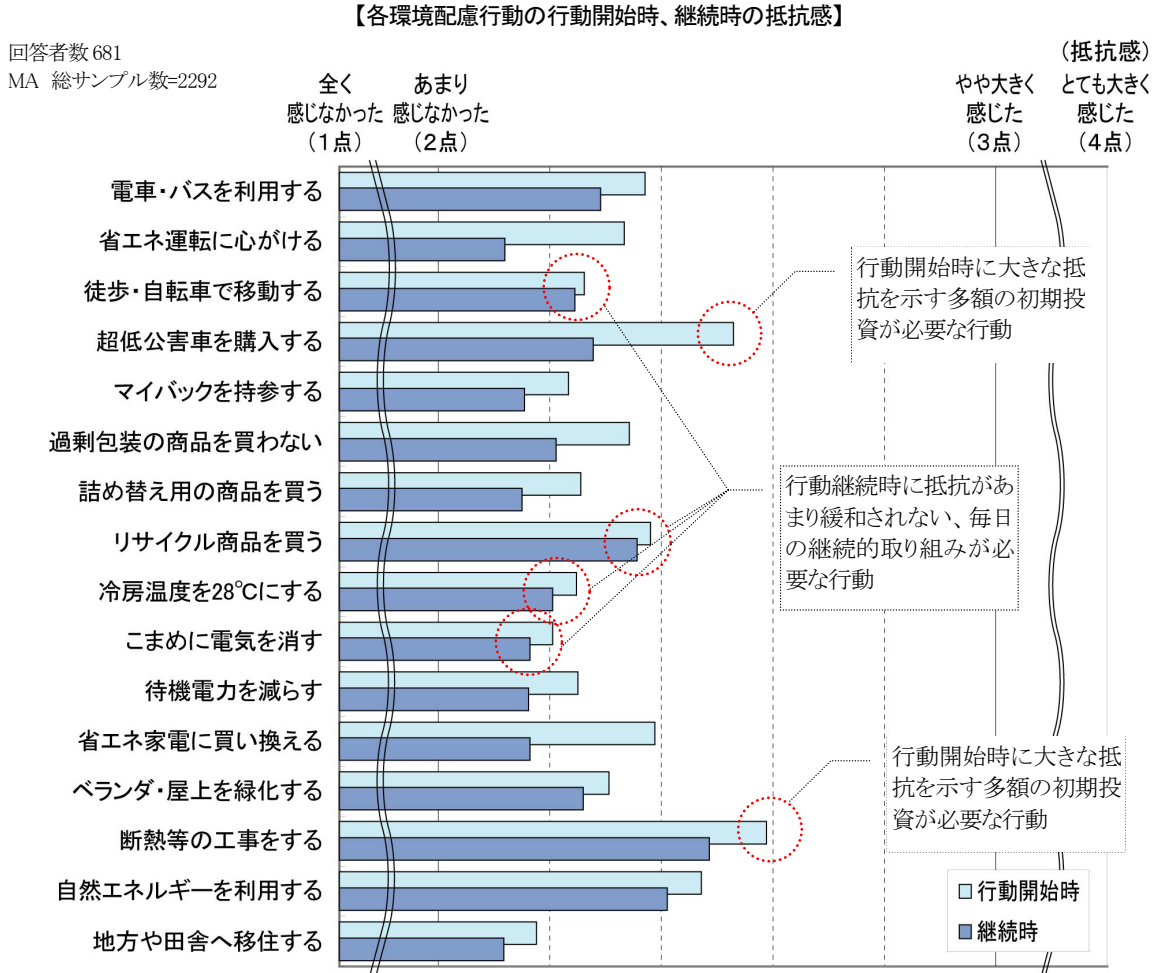
**【節電センサーライト】**

人センサー+明るさセンサーが搭載され、周囲が暗いとき、人が近づけば【パッ】と自動点灯。離れると自動消灯する。ゆっくりと暗くなり（白熱球のみ）消灯を知らせてくれる。

参考；日本セラミック株式会社ホームページ

【参考；各環境配慮行動の行動開始時、継続時の抵抗感】

■DATA-1；各環境配慮行動の行動開始時、継続時の抵抗感



※備考；北九州市調査；2006.10、北九州市役所周辺地区において実施されたイベント（エコライフステージ2006）にて、イベント参加者を対象にアンケート調査を実施。回収数は681通（回答者の内、93%が北九州市内在住）本設問は、抵抗感を4段階に区分し、全く感じなかったを1点、とても大きく感じたを4点として各自の回答を促し、その結果をもとに平均値を算出したものである。グラフは、平均値があまり感じなかった2点からやや大きく感じた3点の間に集約されたため一部を省略している。

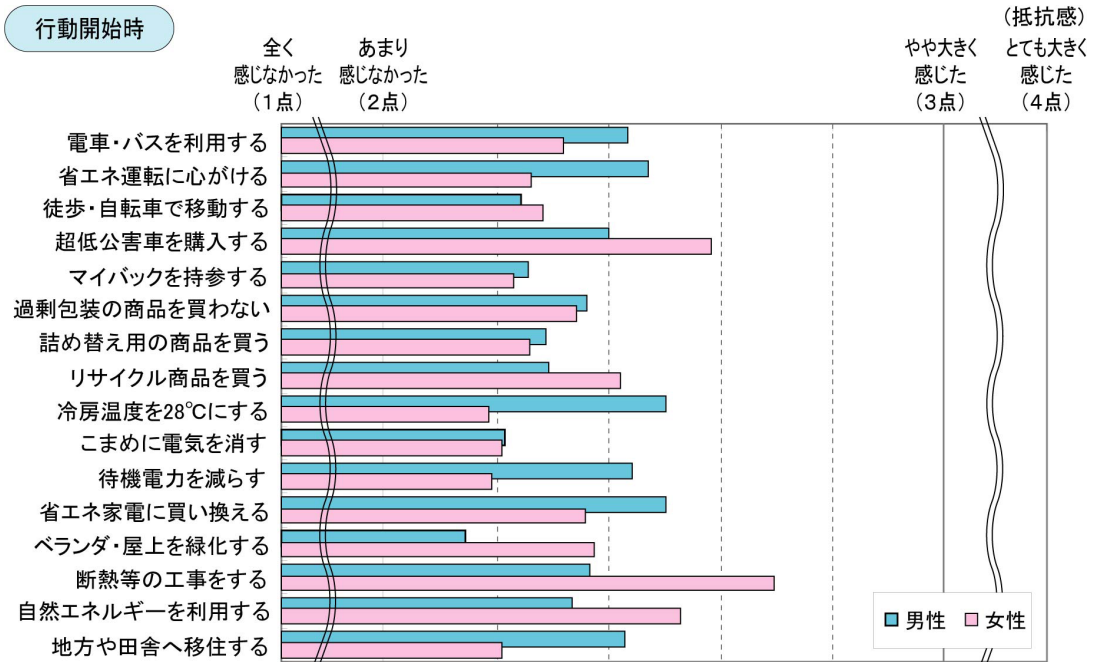
【調査結果の考察】

- ⇒多くの環境配慮行動において、行動開始時と行動継続時での抵抗の大きさは異なる。
- ⇒「断熱等の工事をする」、「超低公害車を購入する」といった行動開始時に多くの費用が要する取り組みは、行動開始時の抵抗が大きい。
- ⇒行動開始時と行動継続時の抵抗感に大きな差が見られない取り組みは、「徒歩・自転車で移動する」、「こまめに電気を消す」など、いつも気にかける必要がある取り組みである。

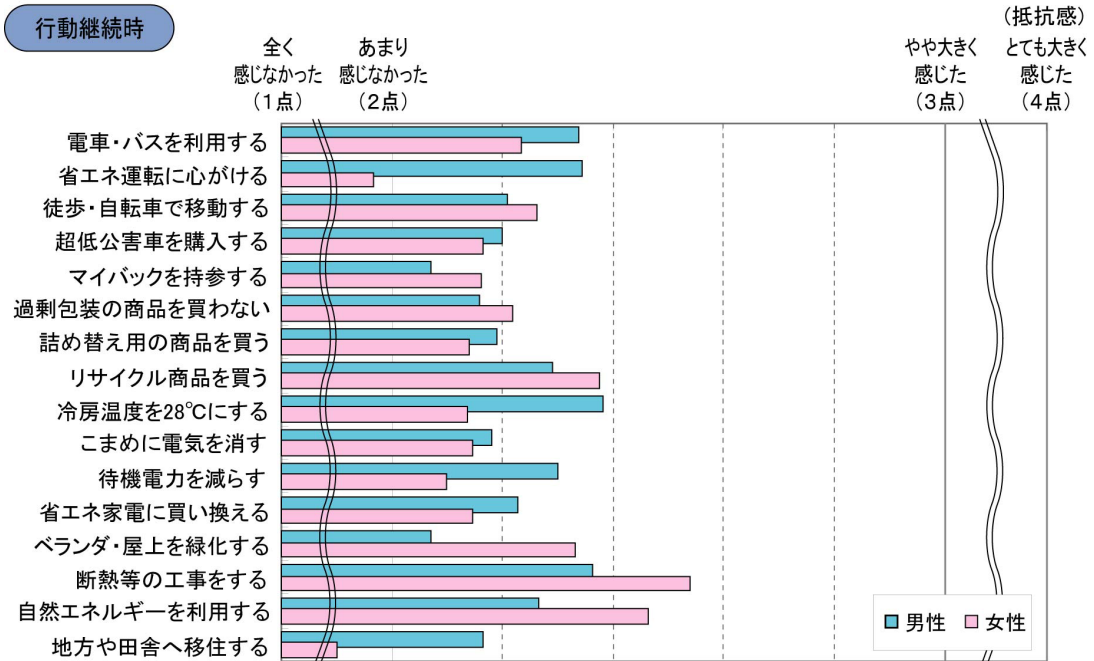
【参考；性別にみる各環境配慮行動の行動開始時、継続時の抵抗感】

■DATA-2；性別にみる各環境配慮行動の行動開始時、継続時の抵抗感

【各環境配慮行動の行動開始時、継続時の抵抗感】



回答者数 681 MA 総サンプル数=2292



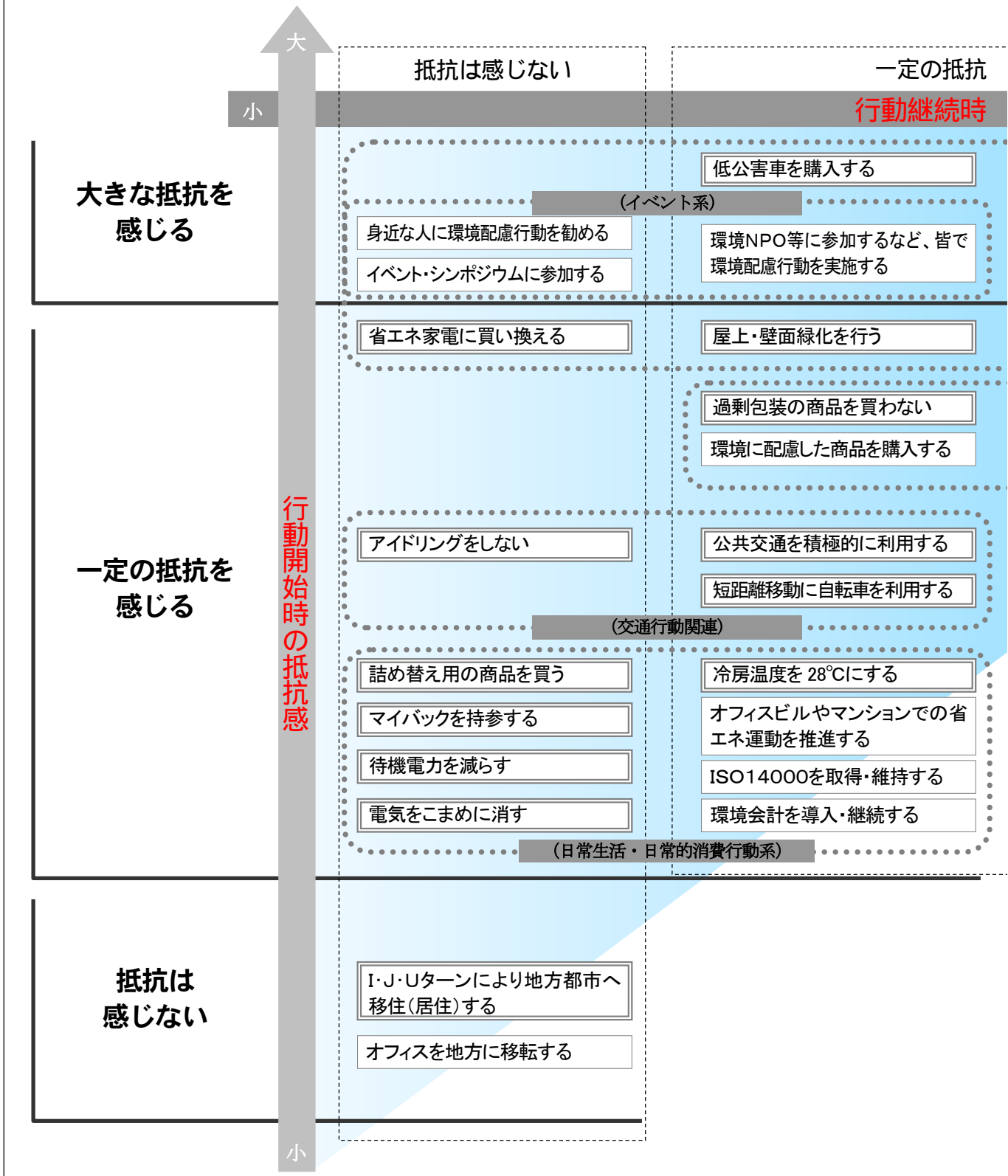
回答者数 681 MA 総サンプル数=2292

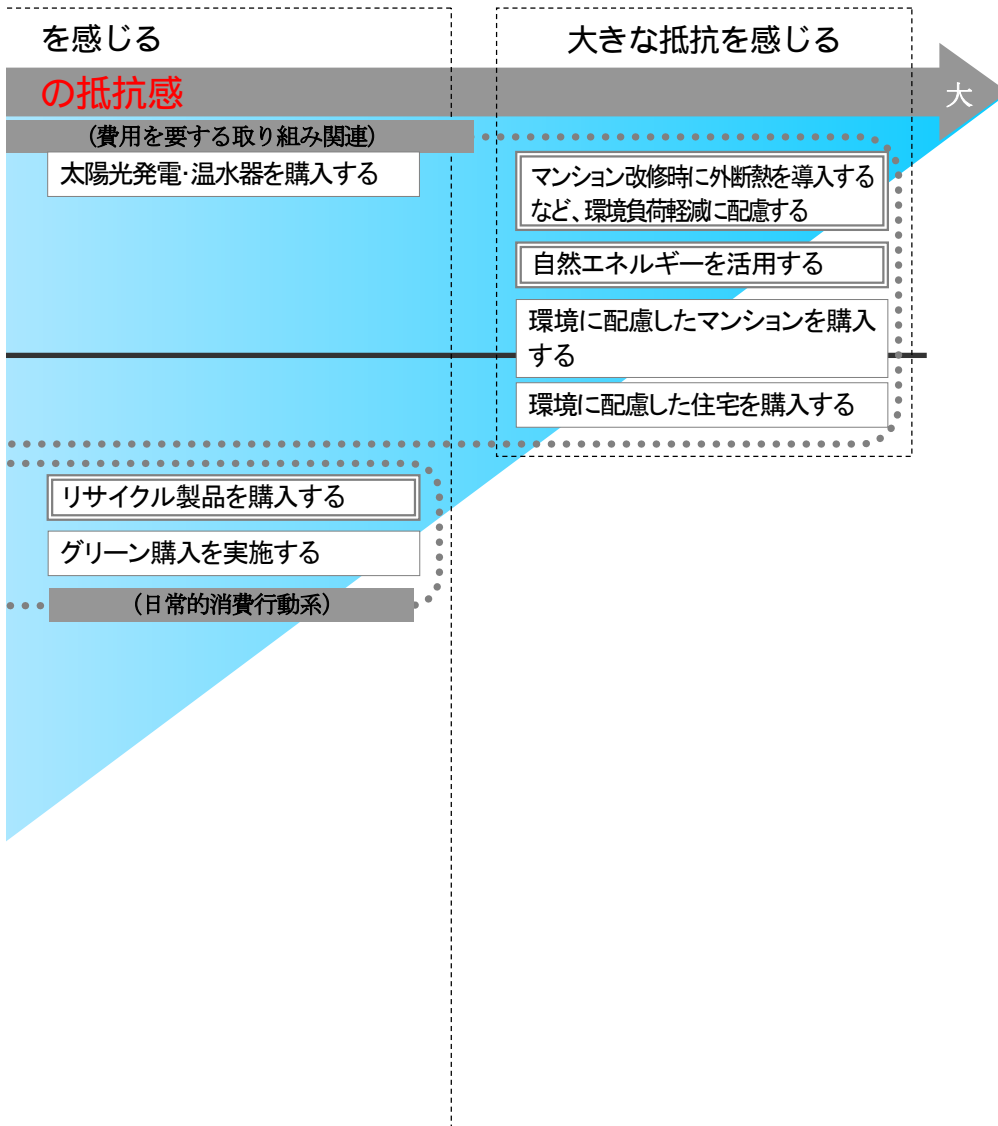
【調査結果の考察】

⇒行動開始段階・継続段階の抵抗感は、性別によって異なる。

【参考；人々の環境配慮行動に対する抵抗の大きさ】

行動開始時や行動継続時に大きな抵抗を感じている取り組みはどのような取り組みであるのか、また、両時点ともに抵抗を感じない取り組みはどのような取り組みであるのか、北九州市におけるアンケート調査結果をもとに整理した。





凡例

本研究で得られたデータに基づき整理

本研究で得られたデータから想定



## 4-2-2 視点2 ; 市民が取り組みたいことを把握し、ポイントを絞った協力要請をする

### 考え方

環境配慮行動の普及・促進を図るためには、人々が実際に取り組みたいと思う環境配慮行動（人々のニーズに合致した施策）を抽出し、その行動を協力要請の対象として協力要請を行うことが効果的である。

こうした、施策実行者である人々の素朴な関心・興味（ニーズ）にフィットした取り組みを取り上げることで、取り組みに対する抵抗感を抱かせることなく、自然に取り組みの実行を促すことが可能であるものと考えられる。

#### ▼市民の視点からみた取り組み

自然や環境を大切にしたい

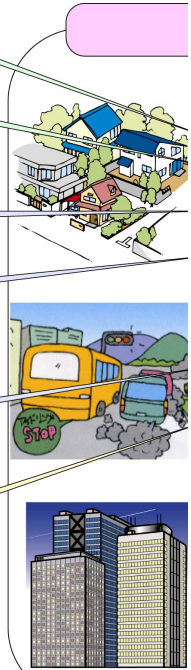
自然に囲まれた地域で、安く、快適に暮らしたい

ものを大切にしたい

光熱費を節約したい

車の維持費を節約したい  
(ガソリン代・税金)

自転車、ウォーキング、  
ジョギングで健康づくりをしたい



#### ▼企業の視点からみた取り組み

車の維持費を節約したい  
(ガソリン代・税金)

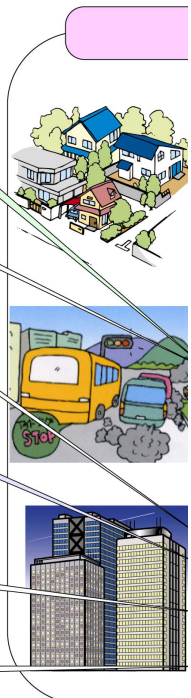
市民に対するイメージアップをしたい

市民に対するイメージアップをしたい

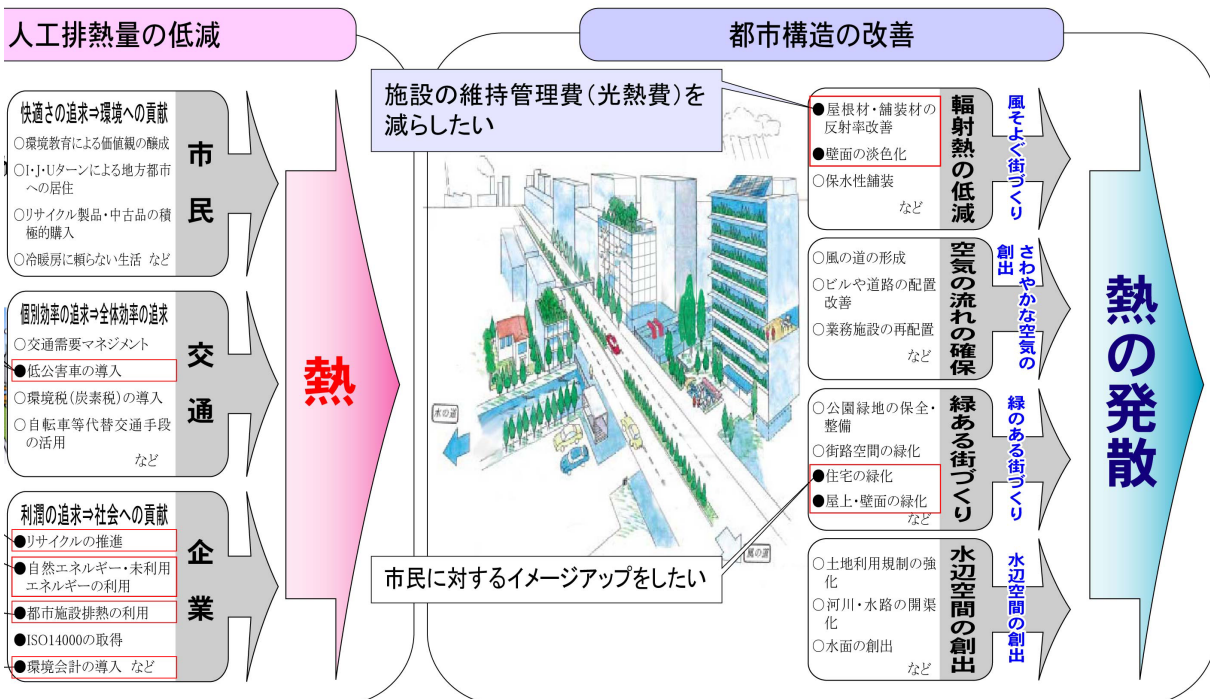
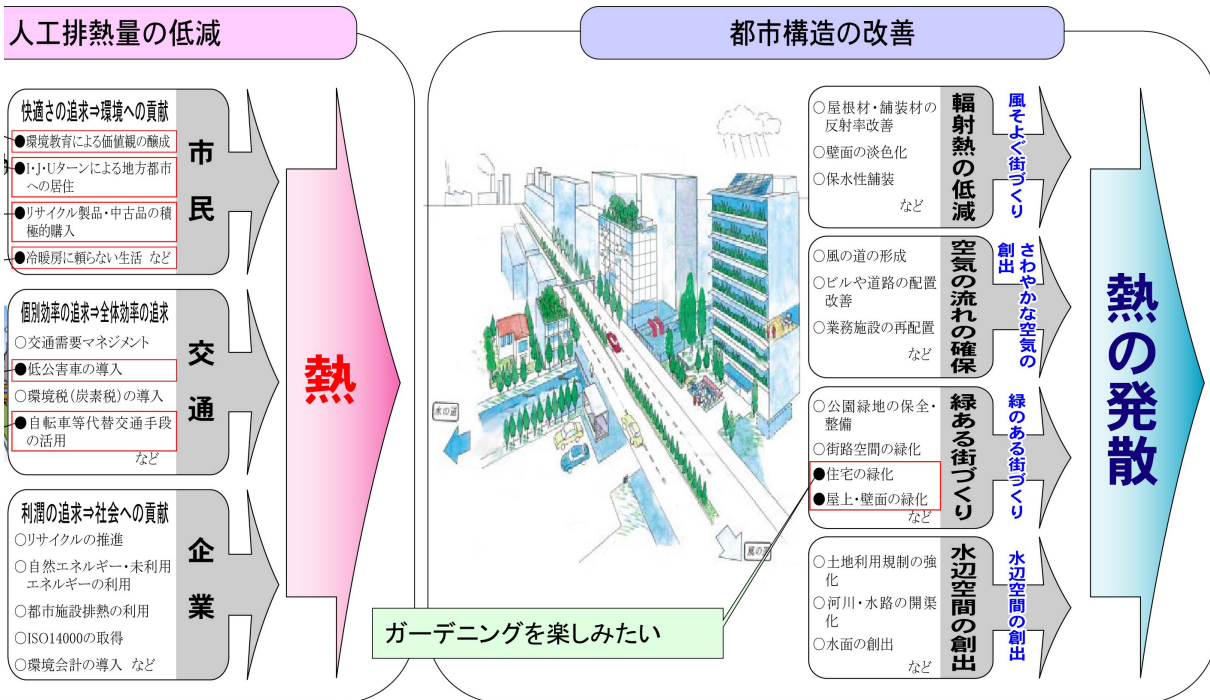
光熱費を節約する

市民に対するイメージアップをしたい

市民に対するイメージアップをしたい



【ヒートアイランド対策と人々の関心・興味(ニーズ)との関係】



## 協力要請の例（大阪市での調査結果による）

ここでの対象となる環境配慮行動は、人々がこれから始めたいと考えている行動である。これから環境配慮行動を始めたいと考えている人々は、どのような取り組みに関心・興味を示しているのかについて、大阪市における人々が関心をもっている環境配慮行動に対する意向を把握するためアンケート調査結果より整理を行った。

以下に、数多くある取り組みの中から、大阪市西区堀江地区の人々が“やってみたい”と表明した環境配慮行動である『公共交通や自転車を利用する』、『電気をこまめに消す』に着目して協力要請方法を整理する。

**a** 『公共交通や自転車を利用する』、『電気をこまめに消す』といった、多くの人々が取り組んでみたいと考えている行動に絞った協力要請を行う。

### ■個人に着目した際の関心のある取り組み

- 1位；公共交通や自転車を利用する
- 2位；電気をこまめに消す
- 3位；マイバックを利用する

※個人が関心を寄せる環境配慮行動は、継続した取り組みが必要ではあるもの、初期投資が不要で、今からでも取り組むことのできる行動に関心が集まっている。

### ■市民団体に着目した際の関心のある取り組み

- 1位；電気をこまめに消す
- 2位；ベランダ等で緑化を行う
- 3位；公共交通や自転車を利用する

※社会貢献などに意欲的に取り組む人々の集まりであっても、環境負荷軽減に向けて関心を寄せる取り組みは、個人が関心を示す行動と類似している。

**b** 女性は“節約”につながる取り組み、男性は“移動手段”に関わる取り組みに関心を示すといった、性別・年齢別関心の特性を踏まえ、協力要請を行う。

<例>

#### ■40・50歳代の男性の場合

⇒『公共交通を利用する』に絞って協力要請をする。

#### ■40・50歳代の女性の場合

⇒『自転車を利用する』に絞って協力要請をする。

#### ■20・30歳代、60歳代の女性の場合

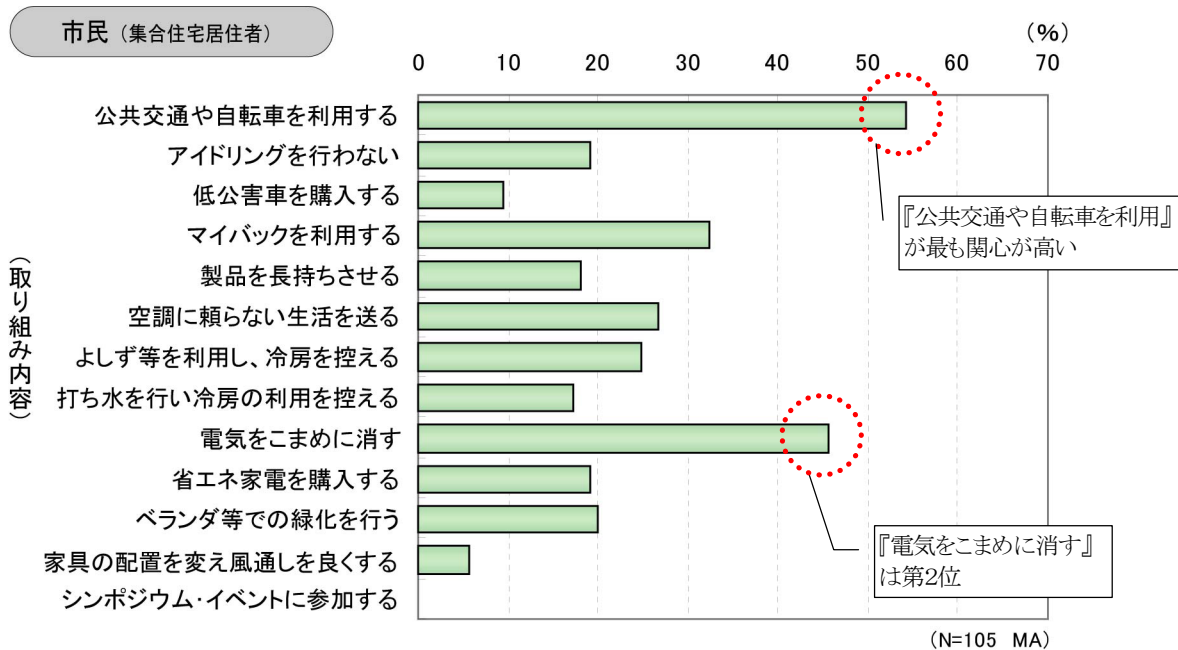
⇒『電気をこまめに消す』に絞って協力要請をする。



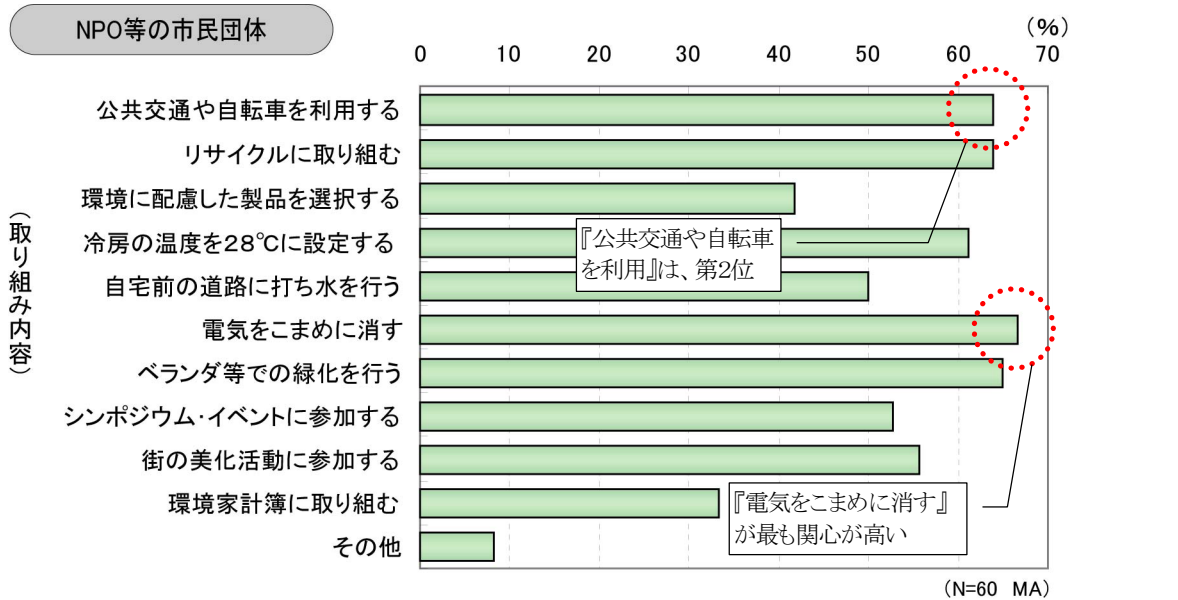
【参考；人々が取り組んでみたいと考えている環境配慮行動】

■DATA-1；人々が取り組んでみたいと考えている環境配慮行動

【問；今後、あなたが取り組んでみたいと思う“環境にやさしい行動”を選んでください。】



※引用データ；大阪事前調査；2006.1に大阪市西区南堀江地区の集合住宅居住者を対象にアンケート調査を実施。調査票は、対象地区の全集合住宅各戸へ配布。配布数1200通、回収数105通（回収率9%）



※引用データ；大阪事前調査；2006.5～7に大阪市西区南堀江地区に関連する自治会、NPO団体などの60団体に対しヒアリング形式でアンケート調査を実施。

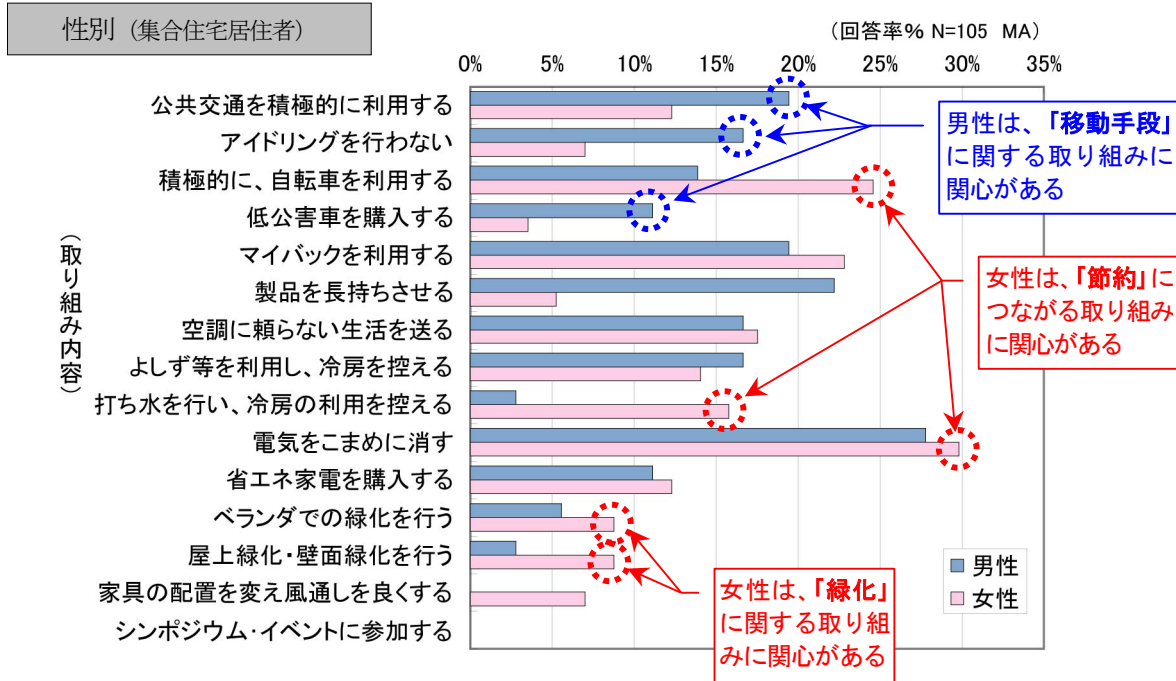
【調査結果の考察】

⇒上位3位に含まれる関心の高い取り組みには、集合住宅居住者、NPO団体等ともに、「電気をこまめに消す」、「公共交通や自転車を利用する」の2つの取り組みが含まれている。

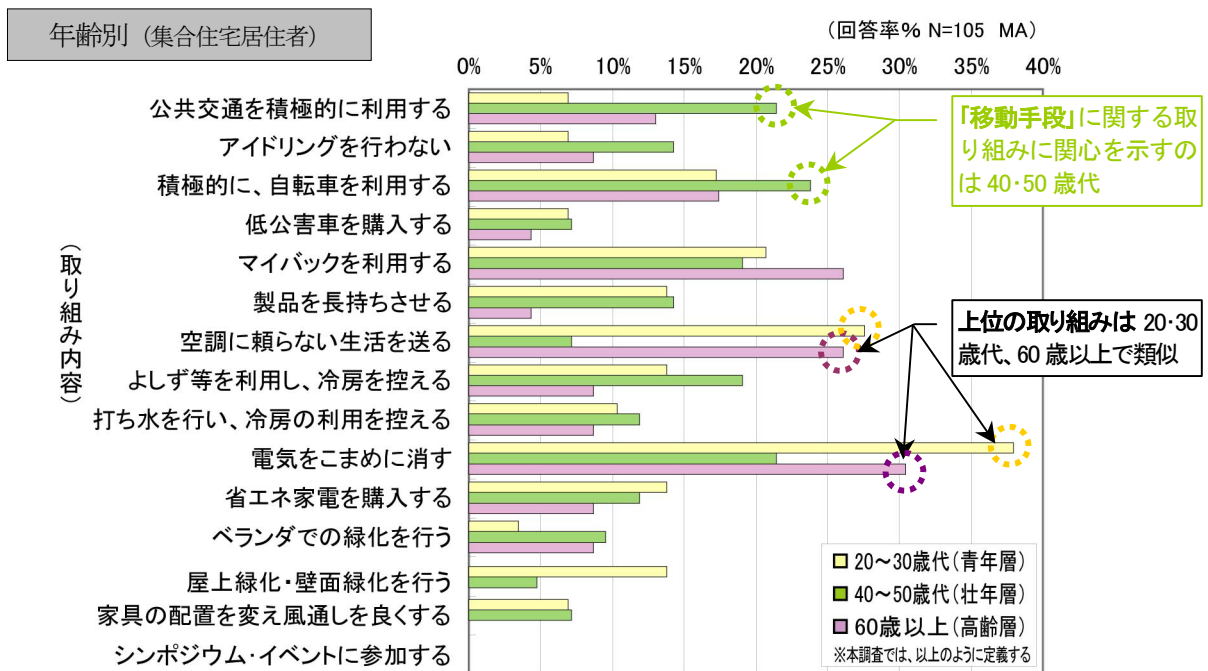
【参考；性別・年齢別にみる人々が取り組んでみたいと考えている環境配慮行動】

■DATA-2；性別・年齢別にみる人々が取り組んでみたいと考えている環境配慮行動

【問；今後、あなたが取り組んでみたいと思う“環境にやさしい行動”を選んでください。】



※引用データ；大阪事前調査；2006.1に大阪市西区南堀江地区の集合住宅居住者を対象にアンケート調査を実施。調査票は、対象地区の全集合住宅各戸へ配布。配布数1200通、回収数105通（回収率9%）

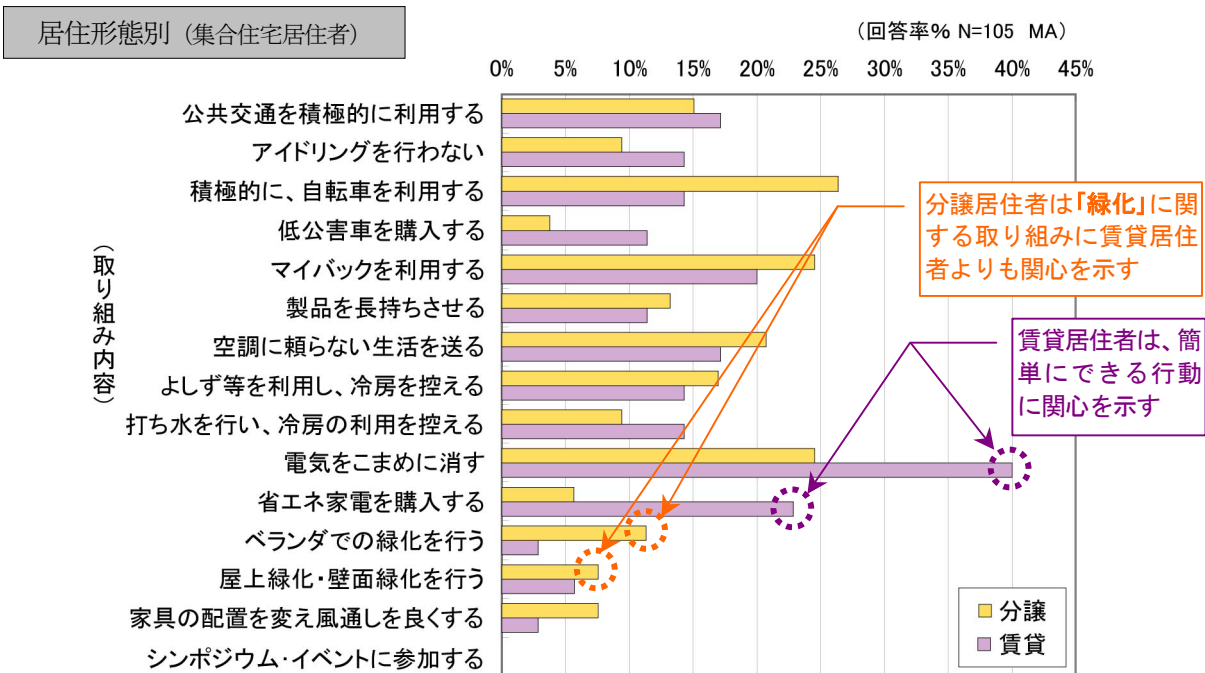


※引用データ；大阪事前調査；2006.1に大阪市西区南堀江地区の集合住宅居住者を対象にアンケート調査を実施。調査票は、対象地区の全集合住宅各戸へ配布。配布数1200通、回収数105通（回収率9%）

【参考；居住形態別にみる人々が取り組んでみたいと考えている環境配慮行動】

■DATA-3; 居住形態別にみる人々が取り組んでみたいと考えている環境配慮行動

【問; 今後、あなたが取り組んでみたいと思う“環境にやさしい行動”を選んでください。】



※引用データ；大阪市事前調査；2006. 1 に大阪市西区南堀江地区の集合住宅居住者を対象にアンケート調査を実施。調査票は、対象地区の全集合住宅各戸へ配布。配布数 1200 通、回収数 105 通 (回収率 9%)

【調査結果の考察】

⇒男性は「移動手段」、女性は「節約」、「緑化」に関する取り組みに対して関心を寄せている。

⇒取り組みに対する関心は、年齢別によっても差が生じている。例えば、移動に関する取り組みでは、20・30 歳代、60 歳以上の人々の関心が低い一方で、40・50 歳代の人々の関心が高くなっている。

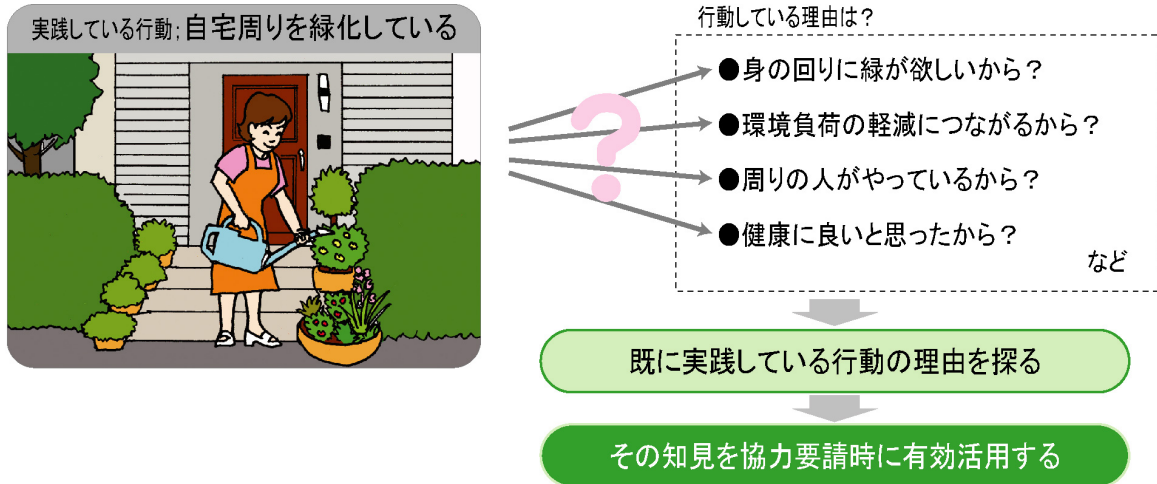
⇒居住形態の違いによっても取り組んでみたい行動に対する関心は異なる。異なる理由の中には、居住形態の違いによる制約（賃貸住宅では、ベランダがない・ベランダが狭い住宅が多く、緑化を行うことが難しい、規約でベランダを緑化できないなど）が存在するものと考えられる。

### 4-2-3 視点3 ; 実践している環境配慮行動の理由を探り、その知見を有効活用する

#### 考え方

人々は、日常生活の中において、“環境負荷軽減のため”ではなく、“経済的メリットがある”、“健康に良い”などの理由により、環境負荷軽減につながる行動を実践していることもある。

このため、実践している環境配慮行動の理由を探り、その理由を不特定多数の人々に協力要請を行うときに有効活用することで、環境配慮行動の普及を図っていくことが必要であると考えられる。



#### 協力要請の例（大阪市・北九州市での調査結果による）

ここでは、どのような理由により環境配慮行動が実践されているのか、北九州市及び大阪市における環境配慮行動に対する意向を把握するためアンケート調査結果により明らかにする。

以下では、数多くある取り組みの中から、これまで多くの人々によって実践されている環境配慮行動を抽出（上位5位）し、その行動を対象に各行動に対する継続要因を探り、その結果を踏まえて協力要請時において提供すべき情報内容として例示している。

**a** 『ベランダ・屋上を緑化する』は、趣味の一環として取り組めること、環境負荷軽減に寄与することを強調する。

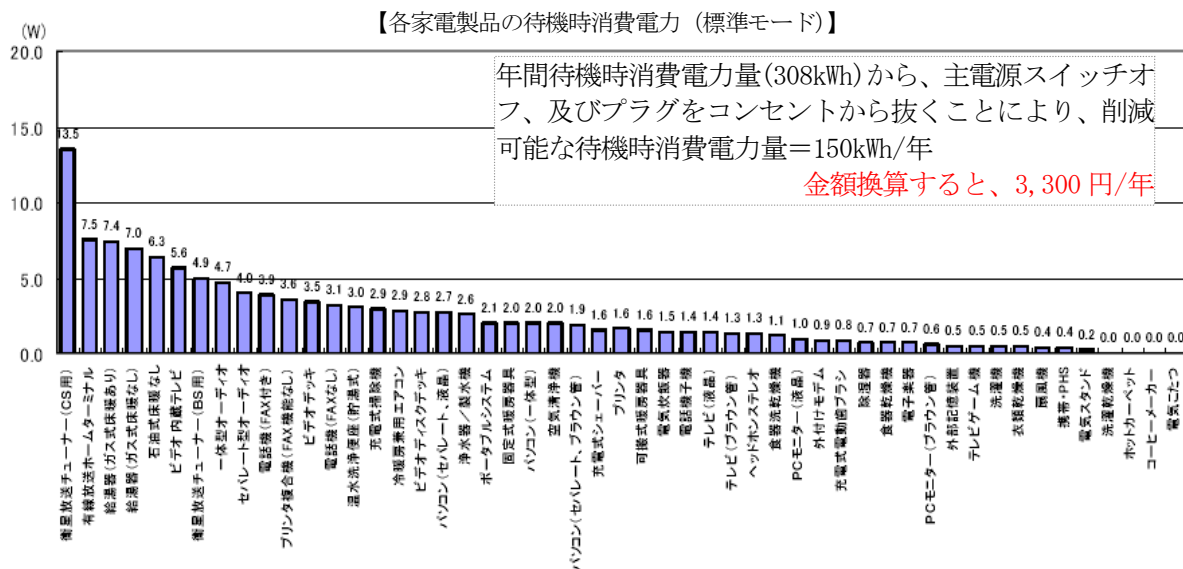


←マンションベランダでのガーデニング

**b** 『マイバックを持参する』、『待機電力を減らす』、『こまめに電気を消す』、『詰め替え用の商品を買う』などの協力要請には、経済的メリットを強調する。

例；各行動の経済的メリットを示す情報を強調して協力要請を行う。

▼ 『待機電力を減らす』



出典；平成17年度待機時消費電力調査報告書 (ECCJ)

▼ 『マイバックを持参する』

(出典：イオングループ ホームページ)



▼ 『こまめに電気を消す』

人のいない部屋の照明は、こまめな消灯を心がけている。	蛍光ランプ(12W)1灯当たり1時間のエネルギー消費量の算出。	100円
	白熱球(54W)1灯当たり1時間のエネルギー消費量の算出。	400円
テレビをつけっぱなしにしたまま、他の用事をしないようにしている。	<28インチ>周囲温度20℃で、1時間使用したときの消費電力量を測定し、1日あたり1時間減らしたときの省エネ効果を算出。	900円

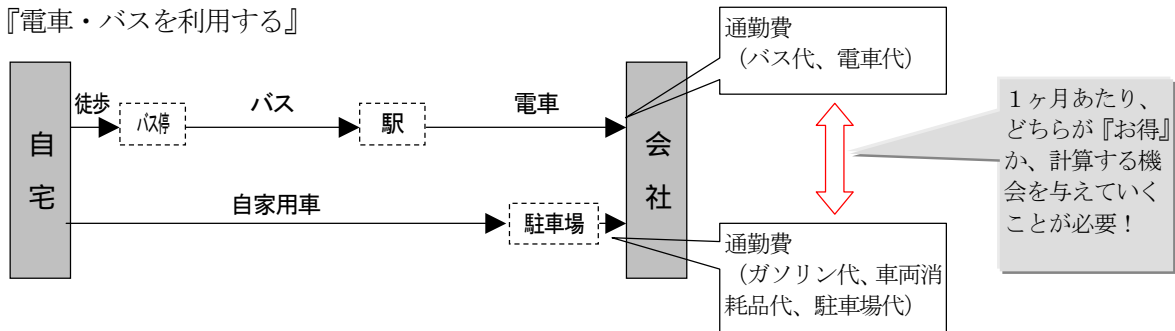
(出典：ECCJ ホームページ)



**c** 『電車バスを利用する』、『冷房温度を 28℃にする』などの協力要請には、“健康に良いこと”に加え“経済的メリット”を強調する。

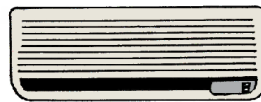
例；各行動の経済的メリットを示す情報を強調して協力要請を行う。

▼ 『電車・バスを利用する』



▼ 『冷房温度を 28℃に設定する』

エアコン<2.2kW 機器>冷房時、外気温度 31℃、設定温度を 27度から 28度にした場合の1時間あたりの消費電力量を測定し、省エネ効果を算出。



原単位(T) 30.0Wh/h、使用日数 112 日  
使用時間 9h/日、光熱費の単価 22 円/kWh

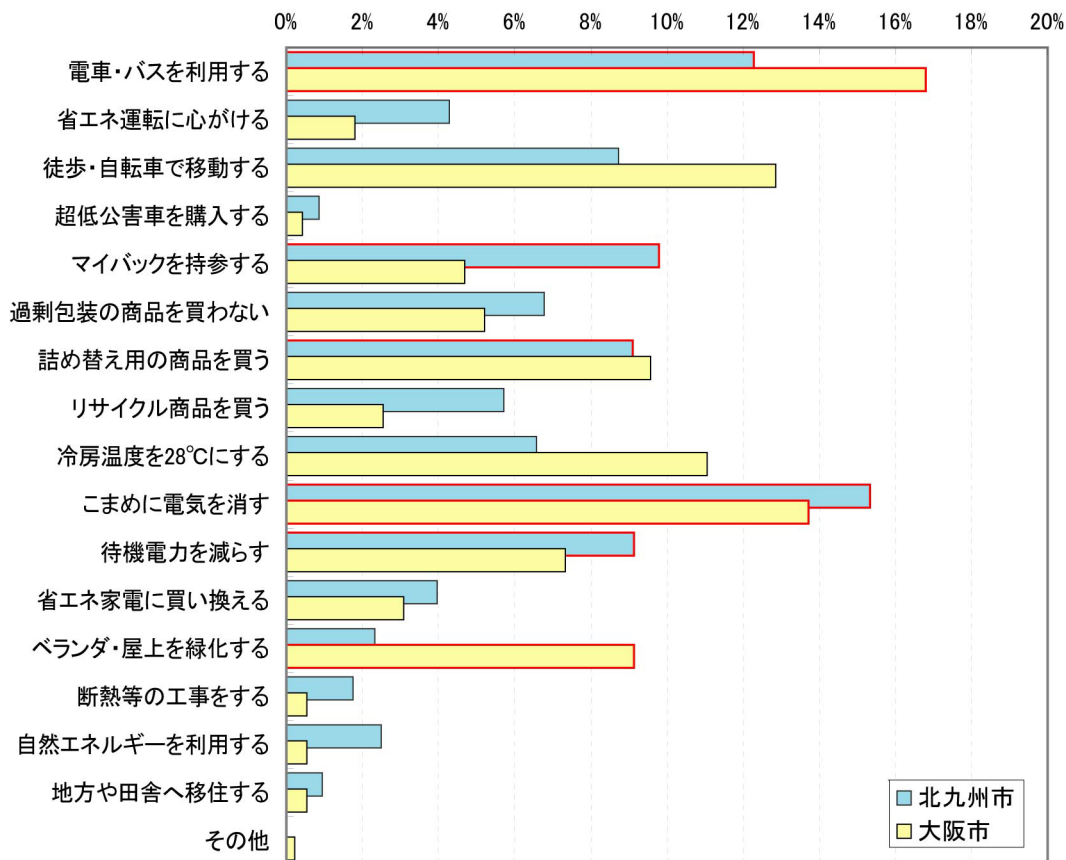
**年間の節約金額は 700 円**



【参考；人々が既に実践している環境配慮行動】

■DATA-1；人々が既に実践している環境配慮行動

【問；あなたはこれまでどのような“環境にやさしい行動”を実践しましたか。】



※赤枠で示す環境配慮行動の継続要因について次頁で整理している。

※備考；大阪市調査；2006.9に大阪市西区南堀江地区の住民を対象にアンケート調査を実施。配布は、対象地区の全戸へ配布。配布数2000通、回収数195通（10%）  
 北九州市調査；2006.10、北九州市役所周辺地区において実施されたイベント（エコライフステージ2006）にて、イベント参加者を対象にアンケート調査を実施。回収数は681通（回答者の内、93%が北九州市内在住）

【調査結果の考察】

⇒多くの人々によって取り組まれている環境配慮行動の上位2つは、両市ともに「電車・バスを利用する」、「こまめに電気を消す」であり、同じ環境にやさしい行動が多くの人々により取り組まれている。

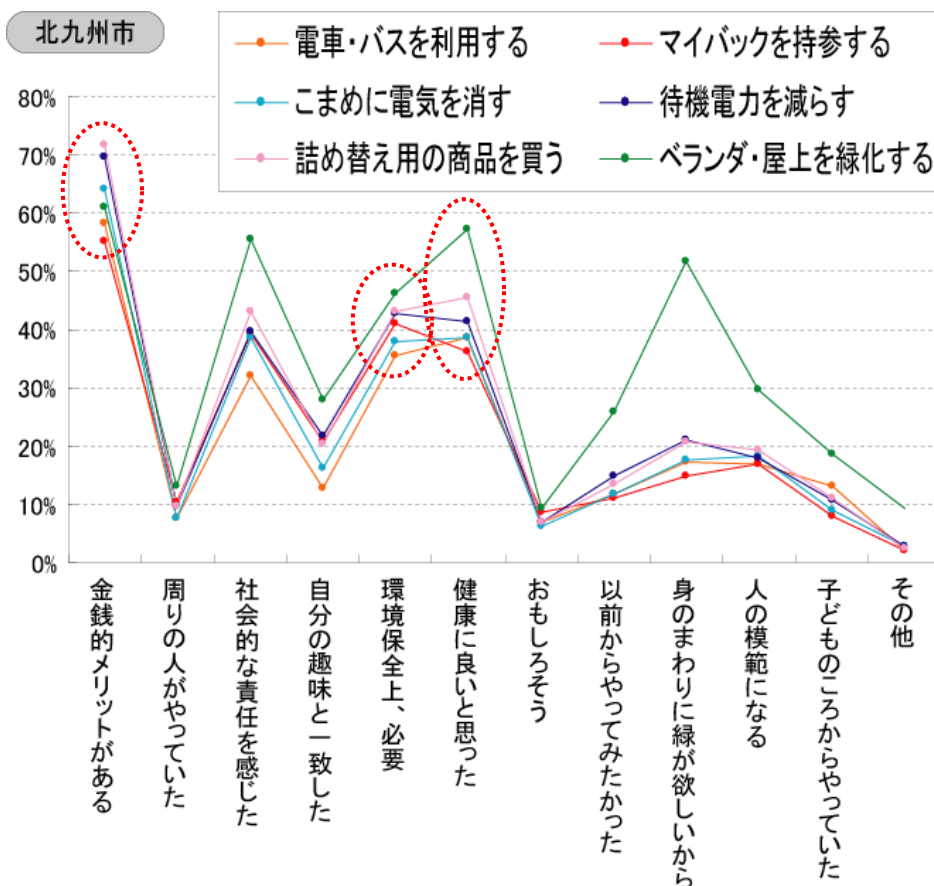
⇒各環境配慮行動で、両市比較で大きな差を示す取り組みは、「電車・バスを利用する」「徒歩・自転車で移動する」等の移動手段に関わる取り組みである。

【参考；人々が既に実践している環境配慮行動の継続要因（北九州市）】

■DATA-2-1;人々が既に実践している環境配慮行動の継続要因(北九州市)

DATA-1 のこれまでに実践された行動の内、上位5位について環境配慮行動の継続要因を以下に整理している。

【問；行動を続けている方に伺います。継続している理由を選んでください。】



回答者数 555 MA 総サンプル数 1305 件

※備考；北九州市調査；2006. 10、北九州市役所周辺地区において実施されたイベント（エコライフステージ2006）にて、イベント参加者を対象にアンケート調査を実施。回収数は681通（回答者の内、93%が北九州市内在住）

【調査結果の考察】

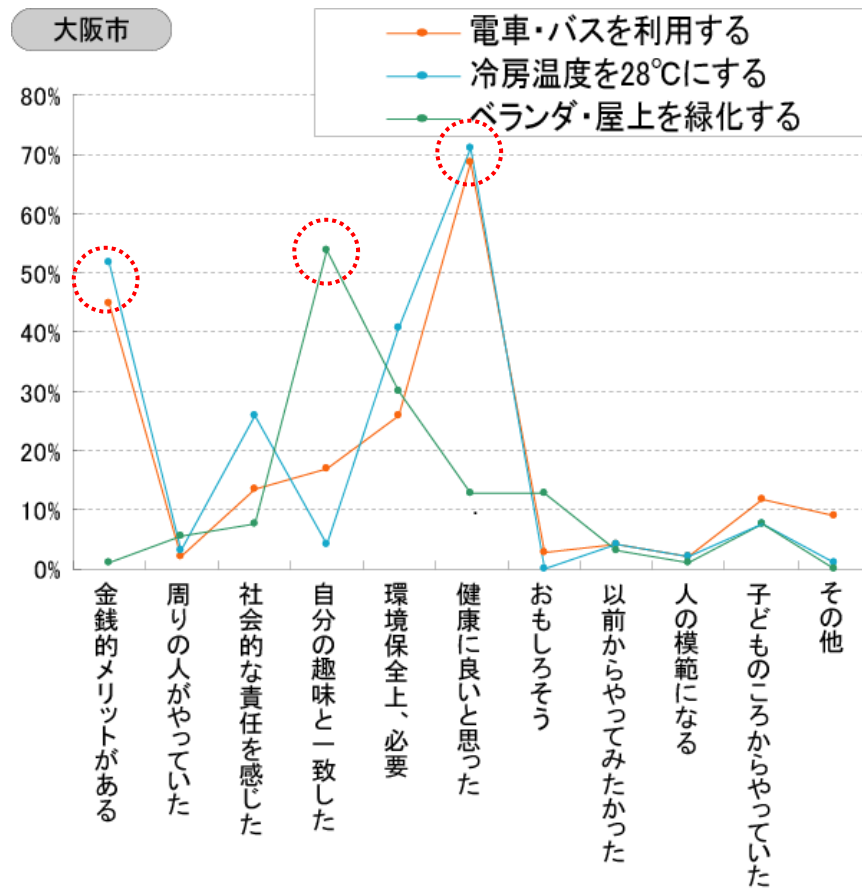
- ⇒各取り組みを継続している要因は、主に「金銭的メリットがある」であった。次いで、「健康に良い」、「環境保全上、必要」、「社会的な責任を感じた」となっている。
- ⇒“ベランダ・屋上を緑化する”の主な継続理由は、上記理由に加え「身の回りに緑が欲しいから」であった。
- ⇒なお、北九州市における調査は、環境イベント参加者を対象としており、環境に対する意識の高い人々であるため、環境側面からの取り組みの必要性を認識している結果となった。

【参考；人々が既に実践している環境配慮行動の継続要因（大阪市）】

■DATA-2-2;人々が既に実践している環境配慮行動の継続要因(大阪市)

大阪市では、市民及び市民団体により実践したいと考えられている環境配慮行動の中から、「電車・バスを利用する」「冷房温度を28℃にする」「ベランダ・屋上を緑化する」の3つの行動について、継続要因を調査し、以下に整理している。

【問；行動を続けている方に伺います。継続している理由を選んでください。】



回答者数 158 MA 総サンプル数=506

※備考；大阪市調査；2006.9に大阪市西区南堀江地区の住民を対象にアンケート調査を実施。配布は、対象地区の全戸へ配布。配布数2000通、回収数195通（10%）

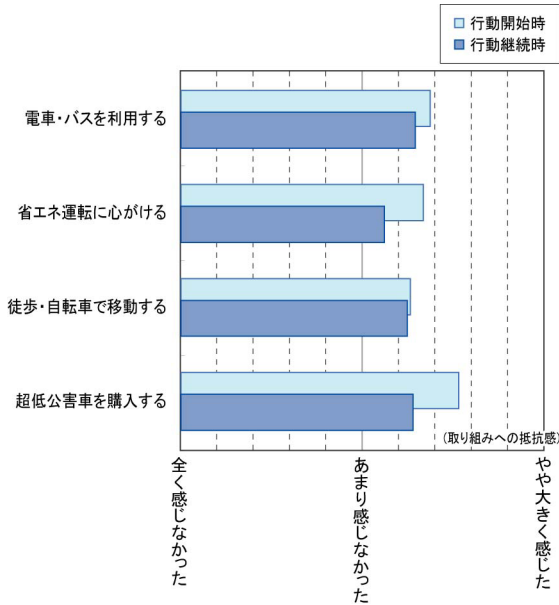
【調査結果の考察】

- ⇒大阪市における各取り組みを継続している要因は、「金銭的メリットがある」、「健康に良い」、「自分の趣味と一致した」となっている。
- ⇒特に、ベランダ・屋上緑化については、「自分の趣味と一致した」が突出しており、環境配慮を背景に実施しているのではないことが伺える。

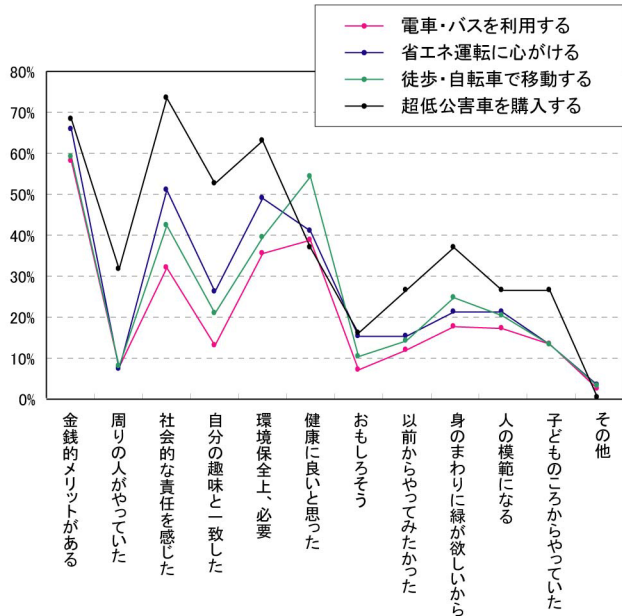
【参考；各取り組みに対する抵抗感と継続要因①】

移動手段に関する取り組みについて

【問；その行動をはじめて知った時、行動を始めた時、行動を続けている時、その行動に抵抗を感じましたか】



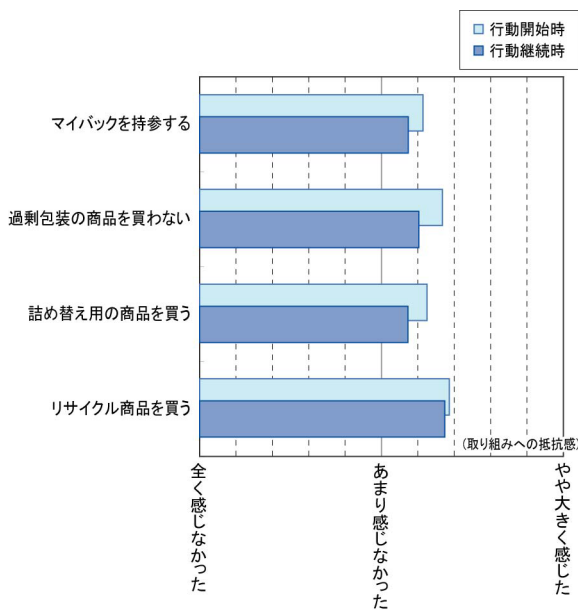
【問；その行動を続けている方に伺います。継続している理由を選んでください。】



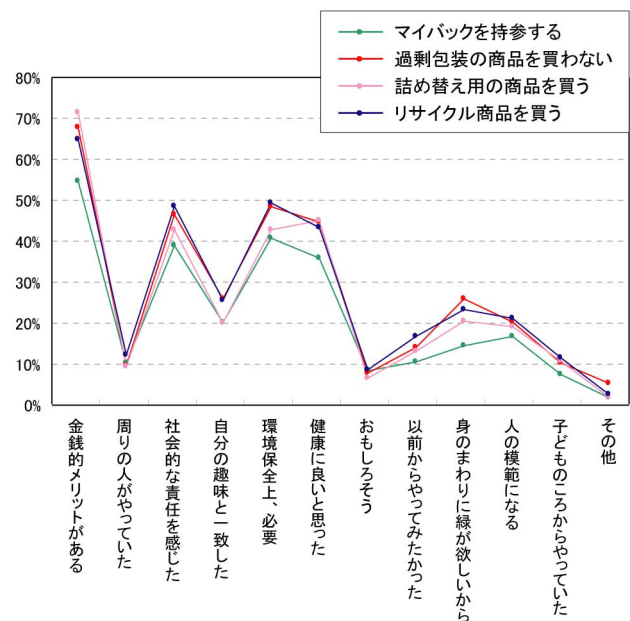
※備考；北九州市調査；2006. 10、北九州市役所周辺地区において実施されたイベント（エコライフステージ2006）にて、イベント参加者を対象にアンケート調査を実施。回収数は681通（回答者の内、93%が北九州市内在住）

リサイクル・リユースに関する取り組みについて

【問；その行動をはじめて知った時、行動を始めた時、行動を続けている時、その行動に抵抗を感じましたか】



【問；その行動を続けている方に伺います。継続している理由を選んでください。】

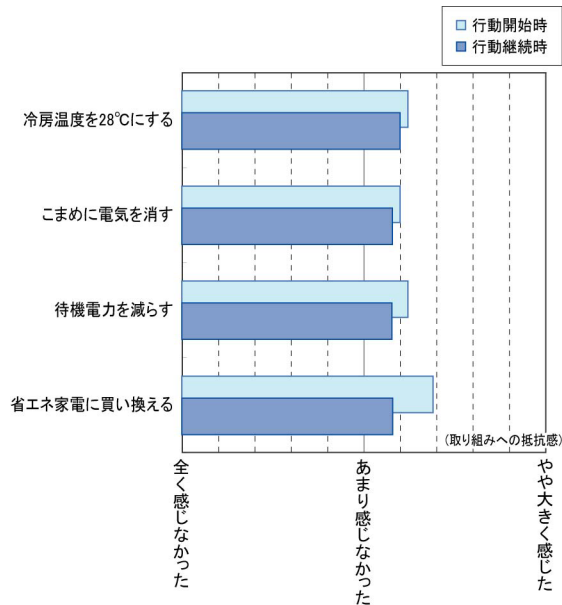


※備考；北九州市調査；2006. 10、北九州市役所周辺地区において実施されたイベント（エコライフステージ2006）にて、イベント参加者を対象にアンケート調査を実施。回収数は681通（回答者の内、93%が北九州市内在住）

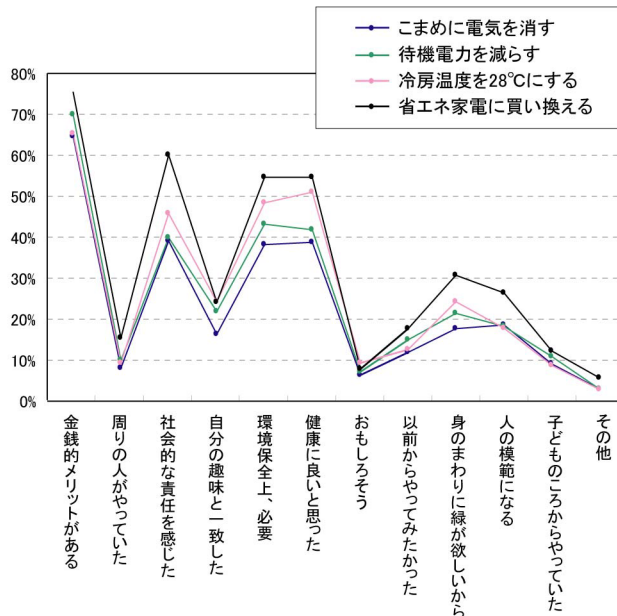
【参考；各取り組みに対する抵抗感と継続要因②】

省エネ行動・省エネ家電に関する取り組みについて

【問；その行動をはじめて知った時、行動を始めた時、行動を続けている時、その行動に抵抗を感じましたか】



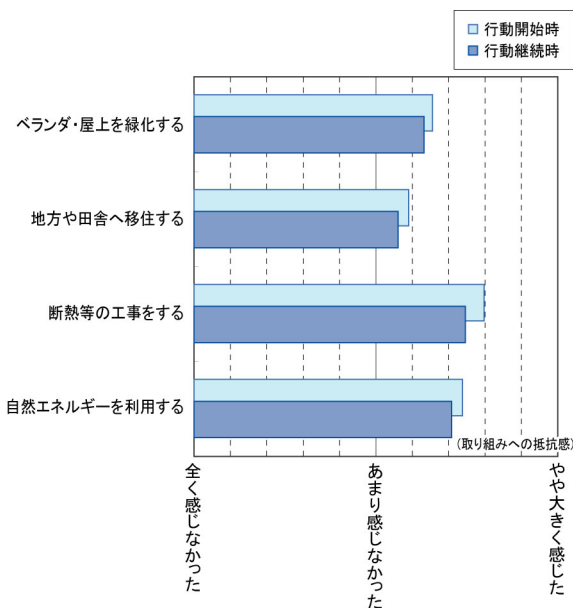
【問；その行動を続けている方に伺います。継続している理由を選んでください。】



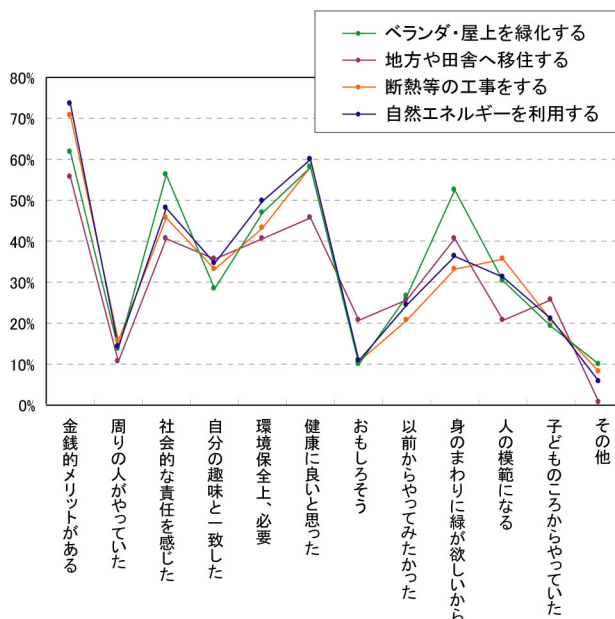
※備考；北九州市調査；2006. 10、北九州市役所周辺地区において実施されたイベント（エコライフステージ2006）にて、イベント参加者を対象にアンケート調査を実施。回収数は681通（回答者の内、93%が北九州市内在住）

住宅環境・住宅性能に関する取り組みについて

【問；その行動をはじめて知った時、行動を始めた時、行動を続けている時、その行動に抵抗を感じましたか】



【問；その行動を続けている方に伺います。継続している理由を選んでください。】



※備考；北九州市調査；2006. 10、北九州市役所周辺地区において実施されたイベント（エコライフステージ2006）にて、イベント参加者を対象にアンケート調査を実施。回収数は681通（回答者の内、93%が北九州市内在住）

## 4-2-4 視点4；習慣化している行動が環境に良いことを認知させ、継続性を確実にする

### 考え方

“子供のころからの癖だから”なんとなく行っている行動、昔ながらの生活様式の一つとして行っている行動など、日常的に慣習化した行動の中には、地域の気候や風土に応じた先人たちの知恵が受け継がれている。こうした取り組みは、地域住民が普段の生活の中で、環境に対する意識とは関係なく慣習化している行動であるが、環境の側面から捉えれば、環境負荷を軽減する取り組みでもあり、環境負荷軽減に資することを訴えていくことで環境配慮行動の継続を促していくことができるものと考えられる。

### 協力要請の例

**a** “地域の風土にあった暮らし方”が環境にやさしいことを改めてアピールする。

地域の気候や風土に根ざした文化には、環境負荷が少なく、快適に過ごすことができる先人の知恵が受け継がれている。温故知新の精神で、新しいスタイルとして生活に取り入れていくことが普及の鍵となる。

#### “風土にあった暮らし方”の一例

##### よしず・すだれの利用



↑よしず、すだれ (出典:「京都まにあ」ホームページ)  
※室内への直射日光を遮り、室内温度の上昇を軽減する。

##### 生け垣の設置



↑生け垣(出典;(財)柏市みどりの基金ホームページ)  
※水の蒸発散効果により気温の上昇を軽減。  
冷えた空気を室内に取り込み清涼感を得る

##### 路地裏での打ち水

↓昭和50年代の路地裏の園芸と打ち水風景  
(出典;もう取り戻せない昭和風景「布川秀雄」)  
※水の蒸発散効果により気温の上昇を軽減。  
冷えた空気を室内に取り込み清涼感を得る



##### 甚平の着用



↑甚平(出典;誕生日プレゼントパジャマ屋ホームページ)  
※袖も身頃も全体的にゆったりして、風通しが良い作り。夏を涼しく過ごすことができる。

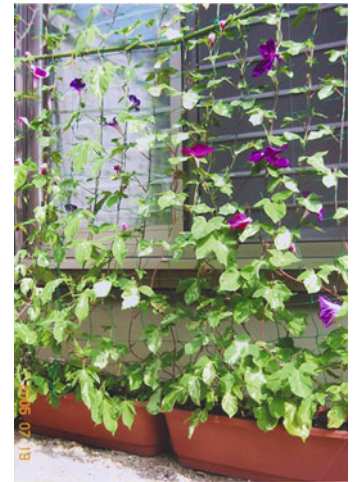
“風土にあった暮らし方を生かしたイベント”一例

つる性植物を利用した緑のカーテン「あさがおのカーテン」の普及



つる性植物を利用した緑のカーテンは、熱のエネルギーの遮断効果、葉の気孔からの水分蒸散により、日差しを和らげてくれるだけではなく室温の上昇も抑えるほか、騒音の低減効果なども確認されています。また、緑のカーテン作りは、子ども達が植物に親しみながら、緑のもたらす涼しさを体感することができることから、環境教育を実践する場としても注目されています。

出典：メッセージ21事務局(山陽放送)ホームページ



扇子やうちわ持参で節電を…



【環境にやさしいECO365 (目黒区鷹番3丁目日本通り商店街振興組合)】  
各店ごとのユニークなエコ対策に協力するとエコポイントがもらえる。たまったポイントに応じて、各店からサービスが受けられる。  
\*マイ箸の持参や残さず食べると1ポイントもらえる飲食店  
\*扇子やうちわ持参で節電に協力すると1ポイント  
集めたポイントで生ビール、あんみつ、西陣織袋帯などと交換できる

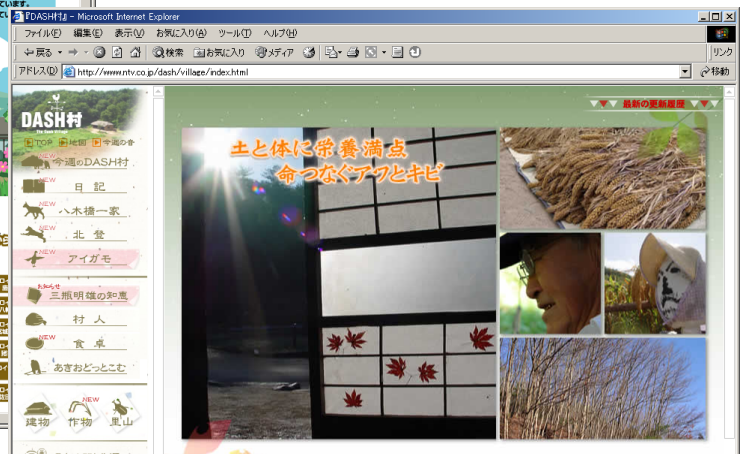
出典：国土交通省ホームページ

b “田舎暮らし”、“シンプルライフ”が環境にやさしいことを改めてアピールする。



←田舎暮らしを始める際の住まいや農業の技術等の情報を提供

(出典:ダイワハウスホームページ)



(出典:日本テレビホームページ)